

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【公開番号】特開2016-195913(P2016-195913A)
 【公開日】平成28年11月24日 (2016.11.24)
 【年通号数】公開・登録公報2016-065
 【出願番号】特願2016-168052(P2016-168052)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成29年2月6日 (2017.2.6)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

可変表示に関する情報を、保留記憶として記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている保留記憶の各々に対応して第 1 表示態様または第 2 表示態様により保留表示を表示する保留表示手段と、

可変表示が開始される前に、前記有利状態に制御されるか否かを判定する開始前判定手段と、

前記開始前判定手段の判定結果にもとづいて、前記始動領域を遊技媒体が通過したタイミングにて前記保留表示手段において前記第 2 表示態様により保留表示を表示する保留予告演出を実行する保留予告演出実行手段と、

所定条件が成立したことにもとづいて前記保留表示手段において保留表示を非表示状態とする非表示制御を実行し、前記所定条件の成立が解除されたことにもとづいて前記保留表示手段において保留表示を表示状態とする表示制御を実行する保留表示制御手段とを備え、

前記保留予告演出実行手段は、

前記始動領域を遊技媒体が通過したタイミングにおいて前記非表示制御が実行されている場合には、前記保留予告演出を実行せず、

前記非表示制御が終了された後に前記保留予告演出を実行可能であり、

前記保留表示制御手段は、前記非表示制御を終了し前記表示制御を実行するときには、前記第 1 表示態様により保留表示を表示する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0001】

本発明は、始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能なパチンコ遊技機等の遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、非表示制御から表示制御に移行したときに保留予告演出が既に実行されているような事態を防止し、遊技に対する興趣を低下させてしまうことを防止することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明による遊技機は、始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変表示に関する情報を、保留記憶として記憶する保留記憶手段と、保留記憶手段に記憶されている保留記憶の各々に対応して第1表示態様または第2表示態様により保留表示を表示する保留表示手段と、可変表示が開始される前に、有利状態に制御されるか否かを判定する開始前判定手段と、開始前判定手段の判定結果にもとづいて、始動領域を遊技媒体が通過したタイミングにて保留表示手段において第2表示態様により保留表示を表示する保留予告演出を実行する保留予告演出実行手段と、所定条件が成立したことにもとづいて保留表示手段において保留表示を非表示状態とする非表示制御を実行し、所定条件の成立が解除されたことにもとづいて保留表示手段において保留表示を表示状態とする表示制御を実行する保留表示制御手段とを備え、保留予告演出実行手段は、始動領域を遊技媒体が通過したタイミングにおいて非表示制御が実行されている場合には、保留予告演出を実行せず、非表示制御が終了された後に保留予告演出を実行可能であり、保留表示制御手段は、非表示制御を終了し表示制御を実行するときには、第1表示態様により保留表示を表示することを特徴とする。そのような構成によれば、非表示制御から表示制御に移行したときに保留予告演出が既に実行されているような事態を防止し、遊技に対する興趣を低下させてしまうことを防止することができる。

(手段1) また、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、光を透過可能な透光性を有する導光板（例えば、前導光板505a、後導光板505b）と、導光板の端面から光を入射可能に設けられた発光体（例えば、表示用LED62a、62b）と、未だ開始していない可変表示について、保留記憶として記憶する保留記憶手段（例えば、第1保留記憶バッファ、第2保留記憶バッファ）と、可変表示が開始される前に、有利状態に制御されるか否かを判定する開始前判定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS1217A、S1217Bを実行する部分）と、開始前判定手段の判定結果にもとづいて、特定のタイミング（例えば、始動入賞が発生したタイミング、保留記憶を消化し保留表示をシフトするタイミング）において当該判定の対象となった可変表示が実行される前に開始さ

れる可変表示において所定予告演出（例えば、保留予告演出）を実行する所定予告演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS6011, S6012を実行する部分）とを備え、導光板は、発光体によって該導光板の端面から該導光板の内部に入射された光を反射して該遊技機の前面に出射させる反射部（例えば、反射部510a～510c、511）が設けられ、発光体を発光させることにより導光板に設けられた反射部から該遊技機の前面に光を出射させる発光演出（例えば、導光板演出）を実行する発光演出実行手段（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS8110A, S8114Aの処理を実行する部分）をさらに備え、所定予告演出実行手段は、特定のタイミングにおいて少なくとも発光演出が実行されていることを含む所定条件が成立（例えば、所定演出の実行中である場合や、導光板演出を伴う可動物予告演出の実行中である場合、導光板演出を伴うスーパーリーチ演出の実行中である場合、第2保留記憶がある場合、第2特別図柄の変動表示中である場合）している場合には、開始前判定手段による判定の対象となった可変表示に対する所定予告演出を特定のタイミングにおいては開始せず、特定のタイミングと異なる実行タイミング（例えば、保留記憶を消化し保留表示をシフトしたタイミング）において所定予告演出を開始し（例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS6000でYと判定したときや、ステップS6005でYと判定したとき、ステップS6006でNと判定したとき、ステップS6007でYと判定したときには、保留記憶を消化（保留表示をシフト）するタイミングでステップS6513, S6514を実行して保留予告演出を開始する）、複数種類の態様により発光演出を実行可能であるとともに、有利状態に制御されるか否かに応じて、複数種類の態様のうちのいずれの態様により発光演出が実行されるかの割合が異なるように構成されていてもよい。そのような構成により、最適なタイミングで所定予告演出を実行して所定予告演出に対して注目させることができ、遊技に対する興味を向上させることができる。

なお、「所定予告演出を制限する」とは、所定予告演出の制限期間内に発生した始動入賞（始動領域への遊技媒体の通過）に対応する保留記憶に対して、全く所定予告演出の設定を行わず所定予告演出を実行しない概念と、所定予告演出の開始タイミングを遅らせる概念との両方を含む。さらに、「所定予告演出を制限する」という概念には、既に現在表示中である保留表示に対応する保留記憶に対して、遡及的に所定予告演出を実行することを禁止したり、所定予告演出の開始タイミングを遅らせたりすることも含まれる。